

新庁舎整備事業

～令和6年9月補正予算関連～



- 1 新庁舎整備これまでの経緯
- 2 変更点のポイント
- 3 新庁舎整備事業 変更の推移
- 4 基本計画の6つの基本方針
- 5 新庁舎整備のスケジュール

1 新庁舎整備これまでの経緯



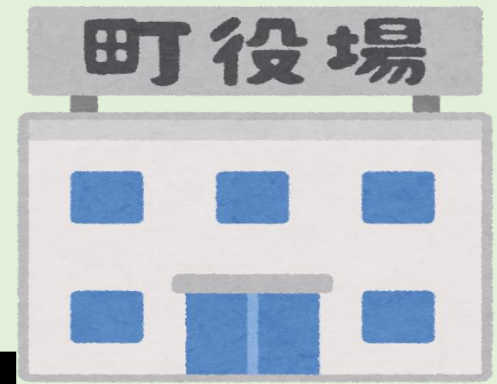
①町役場本庁舎は築53年、老朽化で耐震性不足（防災拠点）などの課題

②令和5年3月 現地建替えの方向で「新庁舎整備基本計画」策定

➡ 地上4階、地下1階＋防護壁・立体駐車場

➡ 総工費44.38億円

（基金14億円で町負担30.38億円）



③町長選挙では「耐震補強検討」

④昨年9月議会で補正予算が否決
町議会は速やかな建替えを決議

⑤「基本計画」を**見直し**当初予算計上

➡ 地上4階、**地下・防護壁・立体駐車場なし**

➡ 新庁舎：**令和8年3月完成**を目指す

➡ 総工費**32.5億円**（基金14億円と
地方交付税活用し**町負担3.1億円**）

⑥ところが、資材・人件費の高騰、能登半島地震、4月の法改正など、社会情勢が大きく変化



⑦市場調査などで「基本計画」の見直しの変更が必要と判明

- ➡ 地上4階、地下・防護壁・立体駐車場なし
- ➡ 新庁舎：令和10年5月完成を目指す
- ➡ 総工費43.6億円（基金15億円と地方交付税活用し町負担16.5億円）

2 変更点のポイント



	基本計画	変更後
① 総工費	44.38億円	➡ 43.6億円
② 町負担	30.38億円	➡ 16.5億円
③ 構造	地上4階（2階） 地下1階	➡ 地上4階（2階） 地下なし
④ 延床面積	5,000m ²	➡ 5,500m ²
⑤ 駐車場	立体＋防護壁	➡ 平面

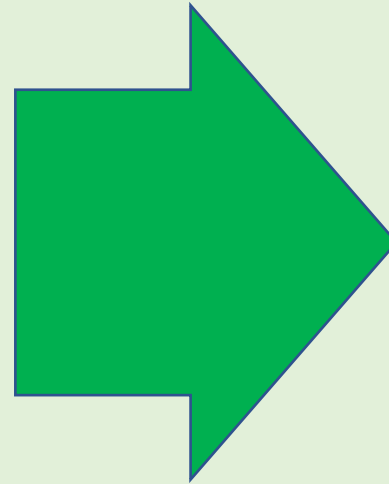
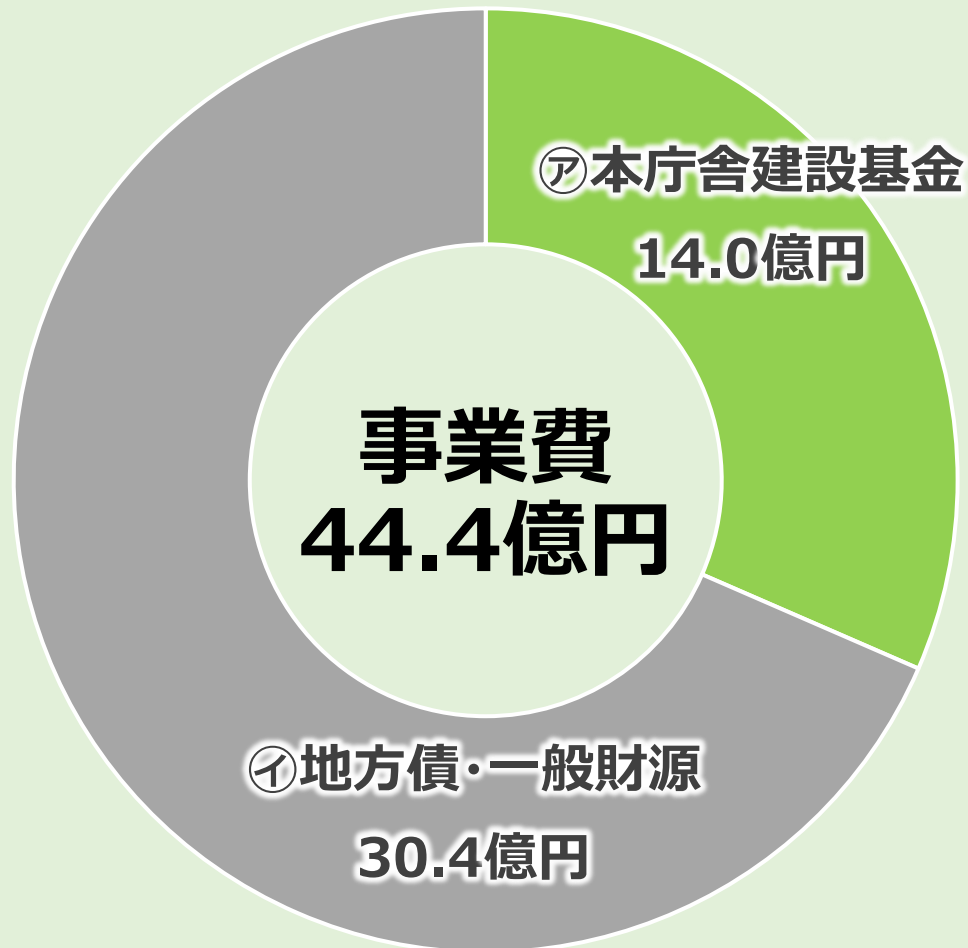
3 新庁舎整備事業 変更の推移

	基本計画 (R5.3月策定)	R 6 当初予算	R6.9月補正予算
①整備面積	5,000m ²	5,000m ²	5,500m ²
②建物構成	地上2F・4F 地下1F	地上2F・4F 地下無し	地上2F・4F 地下無し
③津波対策	防護壁で受止め	行政機能2F以上へ	行政機能2F以上へ
④事業範囲	ア設計・監理 イ新庁舎本体工事 ウ解体工事 エ立体駐車場整備	ア設計・監理 イ新庁舎本体工事 ウ解体工事	ア設計・監理 イ新庁舎本体工事 ウ解体工事 エ平面駐車場整備
⑤事業手法	設計・工事別発注	設計施工一括発注	設計施工一括発注

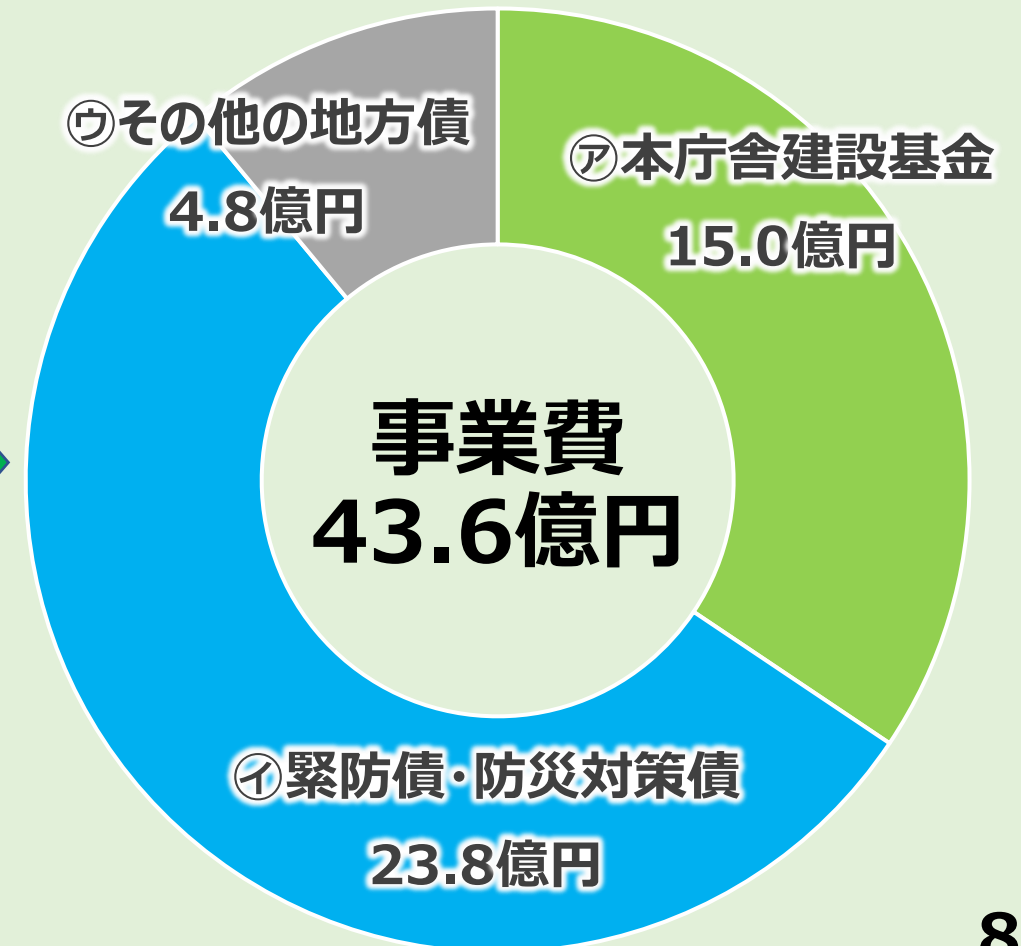
	基本計画 (R5.3月策定)		R6当初予算		R6.9月補正予算	
⑥事業費	44.4億円		32.5億円		43.6億円	
⑦整備時点 財源内訳	基金	14.0億円	基金	10.5億円	基金	15.0億円
	地方債	30.4億円	地方債	22.0億円	地方債	28.6億円
	一般財源		一般財源	0.0億円	一般財源	0.0億円
⑧町負担分 の状況	基金	14.0億円	基金	14.0億円	基金	15.0億円
	町負担	30.4億円	交付税 措置	15.4億円	交付税 措置	12.1億円
			町負担	3.1億円	町負担	16.5億円

⑨整備時点の財源内訳の比較

基本計画時点

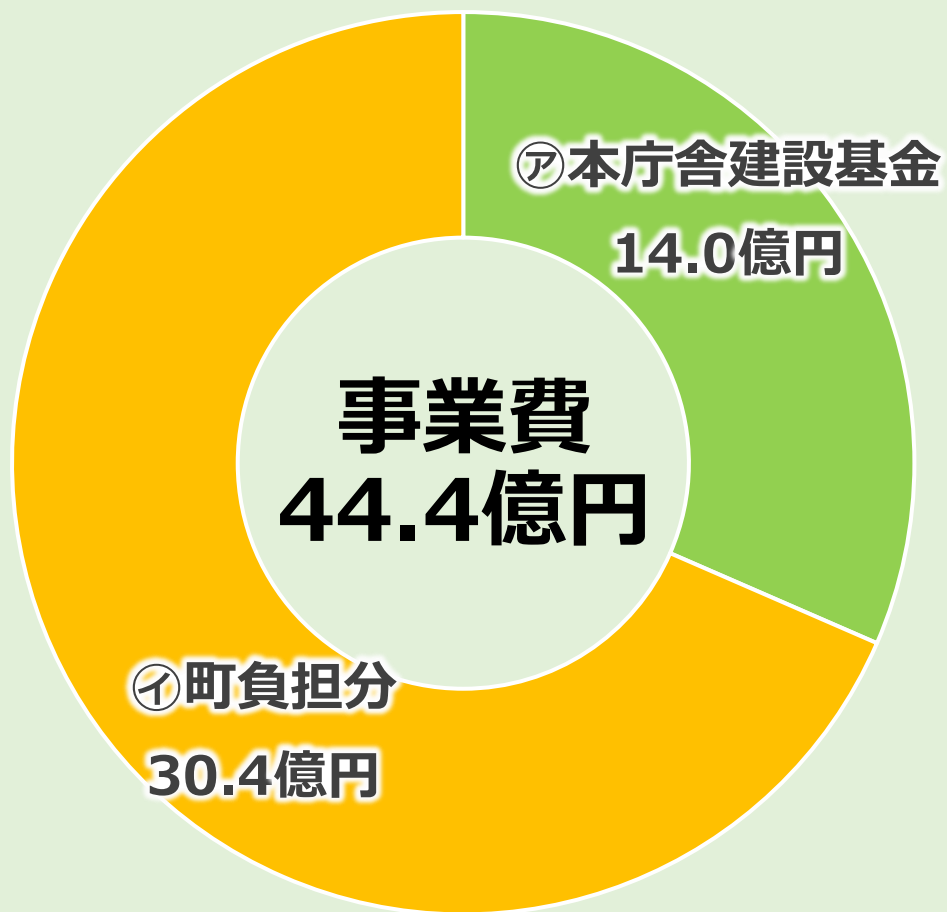


R6.9月補正予算時点

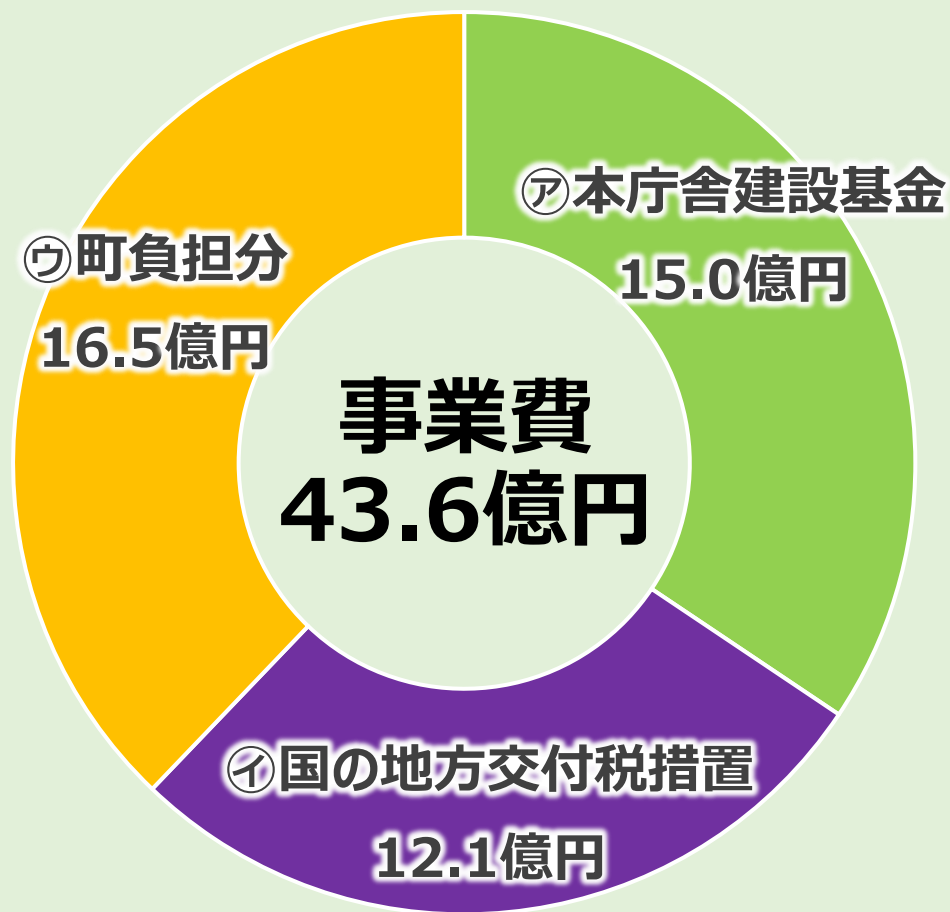


⑩町負担分の比較

基本計画時点



R6.9月補正予算時点

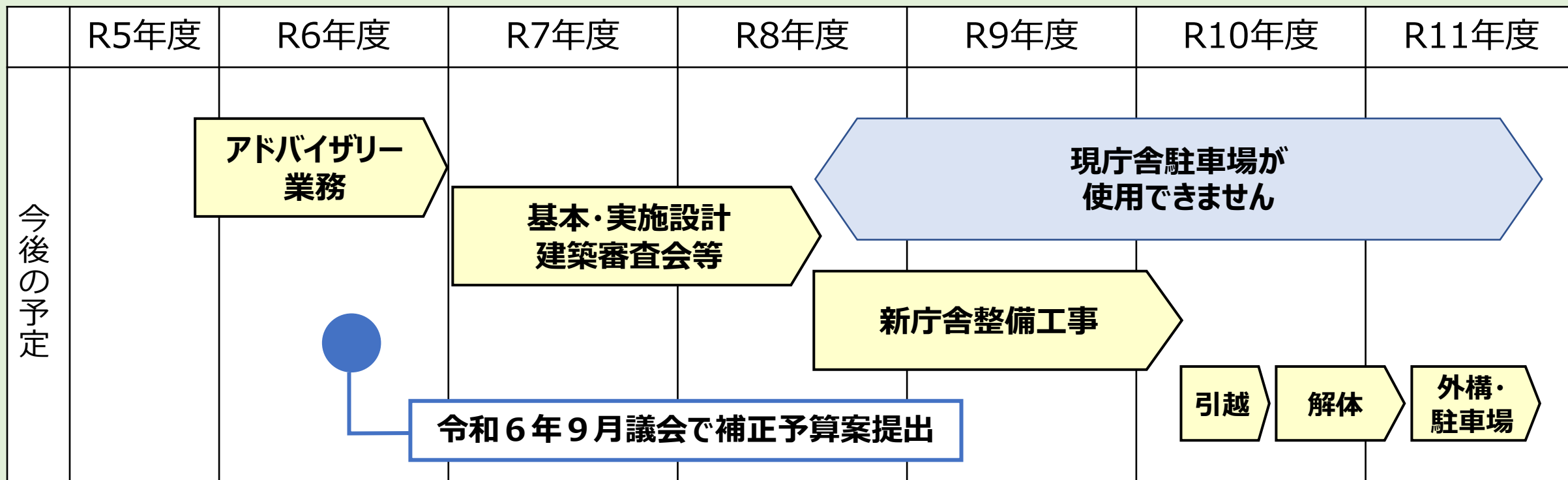


4 基本計画の6つの基本方針

- (1) 防災の拠点となる安全安心の庁舎
- (2) 町民サービスの向上につながる庁舎
- (3) 誰もが快適で使いやすい庁舎
- (4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎
- (5) 経済的で合理的な永く使える庁舎
- (6) まちづくりの拠点となる庁舎



5 新庁舎整備のスケジュール



令和 7 年 4 月 : 設計に着手
 令和10年 5 月 : 新庁舎完成
 令和12年 1 月 : 全体事業完了

